

ゆとみ

議会だより

No.76

2025年
2月14日発行



目次

- 12月定例会のあらまし……………P2～3
- 議案等の賛否状況一覧……………P4
- 委員会レポート……………P5～6
- 行政視察報告……………P6～7
- ズバリ聞きます！一般質問……………P8～23
- おしらせ……………P24

議会カフェオープン ～8年ぶりに開催～ 令和6年12月定例会概要

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335番地

☎(0567)65-1111

FAX(0567)67-4011

12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月27日から12月23日までの27日間の会期で開催されました。

初日には、全会一致で専決処分承認、人権擁護委員候補者の推薦を適任としました。

その他、弥富市長の給料の特例に関する条例の制定について、弥富市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正について、令和6年度弥富市一般会計補正予算（第8号）など10議案が提出されました。また、十四山中学校跡地に小学校再編校を新設することを求める請願書が提出されました。

中日には、令和6年度弥富市一般会計補正予算（第9号）など9議案が追加上程されました。所管の委員会に付託、審議し、議案は全て原案どおり了承し、請願は不採択としました。

最終日には、令和6年度弥富市一般会計補正予算（第10号）が追加上程され、全会一致で可決しました。

なお、各常任委員会に付託された審査内容については、委員会レポートをご覧ください。

議案質疑



弥富市長の給料の特例に関する条例の制定

弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定

弥富市教育長の給料の特例に関する条例の制定

問 減額することとなった経緯、対象となる事項は。

答 不適正な事務処理が相次いで発生した事案を勘案し、その責任を重く受け止め上程した。

問 減額と期間の根拠は。

答 根拠基準は特段設けていないが、先例や他市の状況も参考にした。

問 減額することと果たそうとする目的は。

答 管理監督責任を明らかにし、職員への綱紀粛正を促す。

問 金額や期間は他市町を参考にしたか。

答 根拠基準は設けていない。本市の先例や他市の状況も参考にした。

問 平成24年と令和元年の給料減額条例と比較検討したか。

答 事案が違い、比較の対象とならない。

弥富市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正

問 国・県に申請書類などを提出するためには、この時期でないか。

答 公立学校施設整備費負担金の認定申請は、令和7年4月上旬が提出期限となっている。

問 工事日程なども不確定の中、令和10年4月施行の条例を制定するのは早計ではないか。

答 認定申請書類提出の際に、本議案が議決されることが必要である。

弥富市運動広場条例の一部改正

弥富市立学校施設開放に関する条例の一部改正

問 十四山ブランドの開放時間は。

答 午前6時から午後9時30分まで。

問 跡地利用が決まっていない中で、早急にブランドにすることは、アイデアを狭めるのでは。

答 学校の廃止によって運動場の利用の機会が失われる。跡地利用については、引き続き地域の意見を聞きながら検討する。

本会議最終日



可決 議案第43号、第44号に対して

反対 加藤明由議員

10% 3カ月の減額は、納税者や市民から理解が得られない。給料減額の域を超え辞任レベルである。

反対 横井克典、那須英二、加藤明由議員

可決 議案第46号に対して

伊藤千春、柴田英里議員 **賛成**

中学校で新設であれば、令和10年4月は余裕で間に合う。小学校は工事中も完成後も危険で無駄が多い。子どもを大事にする弥富市として安全最優先で。増改築よりも、新築の方が費用対効果が高い。

討論

この小学校の再編事業については、繰り返し説明をしてきた。子どもたちのよりよい教育環境の整備のため、令和10年4月の開校に向けて計画の見直しも行き、住民に寄り添った対応をしている。

反対 横井克典、佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第47号、第48号に対して

議案第46号学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正と関連するため反対する。

反対 横井克典、佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第49号に対して

議案第46号学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正と関連するため反対する。

反対 板倉克典、加藤明由議員

可決 議案第52号、第53号に対して

多くの市民は物価高騰の中、給与は上がらず、賞与も期待できない。人口減少が著しい地方自治体では、議員のなり手不足が報道されているが、本市ではまだそのような状況ではなく、市民の理解が得られにくい。市長、副市長が給料の減額条例を提案しなければならない事態は、議会にも責任がある。

反対 那須英二議員

可決 議案第57号に対して

議員や特別職の期末手当アップの予算が含まれている。

請願第1号
十四山中学校跡地に
小学校再編校を新設
することを求める
請願書

◆請願事項
十四山西部小学校の既存校舎（昭和47年建築）は、長寿命化工事を行っても、あと25年程しか使用できない。同校での改修と増築ではなく、十四山中学校跡地で、日の出小学校と同水準以上の魅力ある校舎を新設すること。

反対 平野広行、江崎貴大、早川公二議員

不採択 請願第1号に対して

佐藤仁志、那須英二、横井克典議員 **賛成**

令和10年4月に十四山西部小での開校は、児童の安全性や教育環境を考えるうえで最善である。計画変更は遅延を招き、現実的ではない。また、市長の改正案は全児童が新しい校舎で学べる内容で、多くの議論を経て決定されたものである。請願には事実と異なる部分があり、慎重に精査した結果、反対する。

討論

子どもの安全性は誰にとっても最優先、命はお金に変えられない。保護者の願いとともに、本市が胸を張って『災害に強いまち弥富』として安心安全な施設を目指し、誇れるような学校を中学校跡地で建設してほしい。

12月定例会 議案等の賛否状況一覧 (11月27日議決)

会 派 名		議決結果	公明党	日本共産党	新しい風やとみ	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派		
議案番号	件 名		堀岡敏喜	小久保照枝	那須英二	板倉克典	佐藤仁志	加藤明由	平野広行	早川公二	高橋八重典	加藤克之	江崎貴大	横井克典	平居ゆかり	鈴木りつか	柴田英里	伊藤千春	
市長提出議案																			
承認第6号	専決処分の承認について	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12月定例会 議案等の賛否状況一覧 (12月23日議決)

会 派 名		議決結果	公明党	日本共産党	新しい風やとみ	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	
議案番号	件 名		堀岡敏喜	小久保照枝	那須英二	板倉克典	佐藤仁志	加藤明由	平野広行	早川公二	高橋八重典	加藤克之	江崎貴大	横井克典	平居ゆかり	鈴木りつか	柴田英里	伊藤千春	
市長提出議案																			
議案第42号	弥富市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	弥富市長の給料の特例に関する条例の制定について	可決	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定について	可決	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	弥富市教育長の給料の特例に関する条例の制定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	弥富市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正について ※特別多数議決	可決	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第47号	弥富市運動広場条例の一部改正について	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第48号	弥富市立学校施設開放に関する条例の一部改正について	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第49号	令和6年度弥富市一般会計補正予算(第8号)	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第50号	令和6年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和6年度弥富市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	弥富市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	弥富市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	弥富市職員の給与に関する条例及び弥富市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	弥富市短時間勤務会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	土地改良事業に伴う字の区域の変更について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和6年度弥富市一般会計補正予算(第9号)	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和6年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和6年度弥富市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	令和6年度弥富市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	令和6年度弥富市一般会計補正予算(第10号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案																			
請願第1号	十四山中学校跡地に小学校再編校を新設することを求める請願書	不採択	-	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×

賛否状況 ○：賛成 ×：反対 △：採決時退席 -：議長は採決に加わらない。
 ※特別多数議決：可決には出席議員の3分の2以上の賛成が必要。議長も採決に加わる。

委員会レポート

総務建設委員会



総務建設委員会に付託された議案は9件。12月16日に開催し、審査を行いました。

議案

◆議案第43号

「弥富市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第44号

「弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定について」

議案

◆議案第46号

「弥富市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正について」

討論・採決

議案第43号、44号、52号、53号に関して反対討論がありました。付託された議案は原案を了承しました。

厚生文教委員会



厚生文教委員会に付託された議案は3件。12月17日に開催し、審査を行いました。

らない。

令和10年4月開校でなくてはならない理由は何か。

子どもたちのよりよい教育環境を考えた時、児童数の推移から、令和10年には9学級で男女の偏りが顕著となる推計。4校再編することで男女のバランスを図ることができる。

線状降水帯による豪雨に対する防災対策は。

速やかに「緊急時避難場所」に指定されている校舎の2階以上へ避難する。

また、学校隣接排水路は、3方向から宝川に流れるようになっており、排水機能は高い。

学校保健安全法第26条で、学校安全に関する設置者の責務が規定されているが、現計画で危険を防止できるか。

既存校舎は耐震工事済みであり、耐力度調査でコンクリート強度も確認されているため、倒壊の危険性は低く安全に学習ができる環境である。

新校舎の杭は液状化を考慮し、約40m打設する。屋上を避難場所に設定し、子どもたちは垂直避難をすることで安全確保ができる。

また、キュービクルを屋上に設置し浸水時の電源を確保できる。

工事中、生コン車や大型車両等が児童クラブの周りを出入りし危険ではないか。

工事車両等が子どもたちの生活動線と交錯しないよう工事区画を設け、防音パネル等を設置し対策を講じる。

十四山西部小の位置にこだわる理由は。

学校施設は、市民にとって大切な財産であり、限りある財源を最大限に活用することは行政の責務である。公共施設保有量、子育ておよび教育文化等の機能の連携、児童居住地分布、将来負担等を考慮し検討を行った結果、十四山西部小の位置に決定し、令和5年3月に議会にて説明を行った。

スクールバス運行が、歩行通学や近隣民家への迷惑にならないか。

下校時、バスの乗車はバスターミナルに加え、新たに計画している校舎東側駐車場も活用予定。

◆議案第47号

「弥富市運動広場条例の一部改正について」

◆議案第48号

「弥富市立学校施設開放に関する条例の一部改正について」

◆請願第1号

「十四山中学校跡地に小学校再編校を新設することを求める請願書」

◆議案第43号

「弥富市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第44号

「弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第46号

「弥富市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正について」

◆請願第1号

「十四山中学校跡地に小学校再編校を新設することを求める請願書」

◆議案第43号

「弥富市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第44号

「弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第46号



▲現十四山中学校運動場

◆請願第1号

「十四山中学校跡地に小学校再編校を新設することを求める請願書」

◆議案第43号

「弥富市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第44号

「弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第46号

「弥富市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正について」

◆請願第1号

「十四山中学校跡地に小学校再編校を新設することを求める請願書」

◆議案第43号

「弥富市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第44号

「弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定について」

◆議案第46号

「弥富市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正について」

◆請願第1号

「十四山中学校跡地に小学校再編校を新設することを求める請願書」

委員会レポート・行政視察報告

問 周辺道路は、交通規制をかけるなど交通安全対策を取っているとのことだが、安全とは思わないのか。

答 十四山西部小の北側と西側の市道には歩道がなく、今後、工事用車両が通行するため危険だと考えている。

問 請願者が市の再編計画に不安を抱いている理由は、

答 請願書が提出された後にも、市より安全対策が出てくるため。

問 請願書では、専門家から令和10年4月開校が確認できたとしているが、その専門家は信頼や責任が持てる人か。

答 市から業務委託を受けている設計士ではないが、信頼できると考えている。

討論・採決

議案第46号、47号、48号に関して反対討論がありました。付託された議案は全て原案を了承し、請願第1号は不採択としました。

予算決算委員会



予算決算委員会に付託された議案は7件。12月18日に開催し、審査を行いました。

議案

◆議案第49号

「令和6年度弥富市一般会計補正予算(第8号)」

問 小学校再編整備事業委託料は1、2年生を普通教室に持つていく設計変更か。

答 新築校舎の床面積を増やしたり駐車場を増やすなど設計変更を行う。

問 高上げは設計変更とは別か。

答 予算内で設計士と相談しながら行っていく。

問 議案第46号が可決されなくても長寿命化工事は行うのか。

答 継続していく。

問 新設校の設計を考えたのはどこの部署か。

答 教育委員会。

問 いこいの里の修繕の際は営業を止めるのか。

答 営業に問題はない。



▲いこいの里

◆議案第57号

「令和6年度弥富市一般会計補正予算(第9号)」

問 ふるさと納税推進事業で早場米を扱う考えは。

答 具体的な話はない。

問 名古屋競馬場のグッズなど出せないか。

答 競馬場の馬糞たい肥を出している。



▲馬糞たい肥

問 ふるさと納税500万円増は見込みとして少ないのでは。

答 本市ゆかりのものなどを扱っていく。

問 財政調整基金の見直しは。

答 3月の補正予算では多くを積み立てるのは難しい。

問 令和7年度の財源の確保をどのように工夫するか。

答 市債は交付税措置が有利なものを活用するなど考える。

討論・採決

議案第49号、57号に関して反対討論がありました。付託された議案は全て原案を了承しました。

行政視察報告

厚生文教委員会



兵庫県明石市

令和6年10月21日、兵庫県明石市に「離婚前後の子ども養育支援」「こども総合支援条例」について、行政視察を行った。

明石市は「こども総合支援条例」に基づき、切れ目のない子育て支援を実施している。離婚前後の養育支援では、養育費立替えや面会交流の調整など、親子関係を守る施策を推進している。さらに、不登校児への支援として「校内フリースペース」を整備し、給付型奨学金や子ども食堂の運営支援も行っており、子どもを中心としたまちづくりを実現している。本市においても、これらの施策を参考にした支援の充実が求められる。



▲明石市役所にて研修



▲庁舎からの展望(明石海峡)

行政視察報告

兵庫県淡路市

10月22日、「小学校の統合と廃校後施設の活用」をテーマに兵庫県淡路市に行政視察を行った。

淡路市では、小学校の統合を計画的に進める一方で、廃校後の施設活用を官民一体で進めている。廃校施設の活用率は約77%に達し、企業誘致を通じて地域コミュニティの活性化を実現している。また、統合合の際には児童の交流授業を行い、新しい環境への移行をスムーズに進めている。この取組は、地域住民との協力と信頼を基盤としており、本市における統廃合計画や跡地利用の参考となる地域特性を活かした利活用が重要である。



▲「サキア」1Fこども図書館



▲「サキア」2F宿泊施設



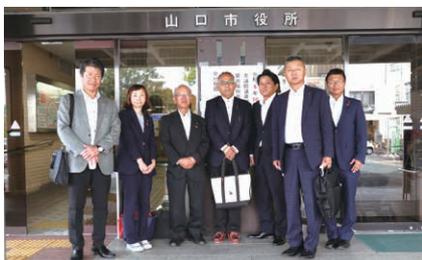
▲閉校施設を活用した複合スペース「サキア」

総務建設委員会

山口県山口市

10月24日、「所有者不明土地の活用について」をテーマに山口県山口市に行政視察を行った。

山口市では、所有者不明土地を地域福利増進事業で活用する取組を行っている。具体的には、所有者不明土地を調査し、法定相続人26人を特定するなど、課題解決に向けたプロセスを学んだ。この事例では、所有者不明土地の寄付を通じ、公共スペースとして活用する計画が進行中である。調査には約2年を要し、土地所有者探索の重要性と課題解決の手法が示された。土地の相続登記を早期に進めることの重要性を感じたほか、本市でも同様の仕組みを導入する必要があると考える。市民生活を向上させるために、今回学んだ手法を活用することが求められる。



▲山口市役所玄関前



▲山口市役所にて研修

大阪府八尾市

10月25日、大阪府八尾市に「中小企業地域経済振興基本条例」と、※コンソーシアムである「みせるばやお」の現地視察を行った。

八尾市では、中小企業の活性化を目的に「中小企業地域経済振興基本条例」を施行している。経営相談や融資斡旋、人材マッチングなどの支援策が充実しており、地域経済の好循環を目指している。視察した「みせるばやお」は、地元企業間の連携やイノベーションを促進する施設であり、就職活動や製品開発の場として機能している。本市でも、産業振興や中小企業支援を強化し、市民や事業者との協力を進める必要があると感じた。八尾市の取組は本市に多くの示唆を与える内容であった。

※コンソーシアム
共同事業体



▲「みせるばやお」内の交流スペース



▲オンライン工場見学



▲八尾市内中小企業の商品展示



ズバリ聞きます!!

一般質問

二次元コードを読み取っていただくと、各議員の一般質問が直接ご覧いただけます。ぜひご覧ください。

|| 市政を問う 15議員が登壇

一般質問は、議員が市政全般に関して、執行機関にその執行状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項などについて質問をすることをいいます。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

議員名	件名	頁	議員名	件名	頁
伊藤千春	①よりよい部活動の地域移行実現を ②市制施行20周年事業の進捗は	9	加藤克之	①道路整備と交通対策を	17
横井克典	①730万円損失の市長の責任は ②20数年後の既存校舎の考えは	10	那須英二	①子育てするなら弥富を取り戻せ ②安心・安全の弥富市に	18
柴田英里	①地震保険の啓発を ②まちなか交流館リニューアルは	11	早川公二	①こども達によりよい教育環境を ②車新田まちづくりの早期実現を	19
平居ゆかり	①不登校児の居場所に図書館を ②高齢者の居場所に図書館を	12	加藤明由	①市有財産の適法管理の怠慢では ②農地賃借料金会議は適正か	20
板倉克典	①コロナ禍後の図書館サービスは ②図書館アンケートをどう活かす	13	佐藤仁志	①なぜ中学校跡地ではダメなのか ②不適正事務処理の管理者責任は	21
平野広行	①令和7年度予算編成は	14	江崎貴大	①重層的支援体制の整備は ②中小企業発展による地域振興を	22
小久保照枝	①離婚後の子ども養育支援を ②GIGAスクール端末の更新は	15	高橋八重典	①統廃合事業の丁寧な全容説明を	23
鈴木りつか	①弥富の文化伝承を！ ②弥富音頭・十四山音頭を学校で	16			



伊藤 千春 議員
無会派

問 よりよい部活動の地域移行実現を

答 部活動の充実に向け取り組む

○「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」について、以下を問う。

問 改定内容で話し合われたか。

答 〔教育部長〕慎重に検討し、実効性のある支援を目指す。

問 その時の意見は。

答 地域全体での支援体制の整備、生徒にとってよりよい環境の提供を具体的に取り組むよう進める。

問 地域移行の目的は。

答 地域連携の強化。

問 理由は。

答 多様な活動の選択肢を持ち、豊かな経験と学びを得ること。

問 課題は。

答 指導者の確保、安定した指導体制と持続可能な運営体制の構築。

問 指導者確保が難航している原因は。

答 経験豊富な指導者が少ないため。

問 講習を行わないのか。

答 毎年、部活動指導員研修会を開催している。

問 指導方法の相違対応は。

答 連携を強化し指導方法や練習内容の共有が重要。

問 事故やケガ等の対応は。

答 個人負担で保険加入が必要。

問 スポーツや文化の発展に対する考えは。

答 世代間交流を図る。

問 平日部活動のあり方は。

答 生徒の体力向上や精神成長を促す重要な役割。

問 今後のスケジュールは。

答 充実に向け、国や県の動向と近隣市町村との情報共有を行う。



▲部活動の地域移行・地域連携(文化庁HPより)



問 10周年事業の主な内容は。

答 〔総務部長〕やとみ春まつり、ラジオ公開録音、金魚サミット、出張!なんでも鑑定団など。

問 20周年事業の観点は。

答 市民が本市に誇りと愛着を持ち自然、歴史、文化など次世代に継承し未来へと思いを繋げる。

問 目的は。

答 本市の魅力を市内外へ発信し発展と飛躍を目指すため。

問 市制施行20周年 事業の進捗は

答 令和8年に向け 協議検討中

問 準備体制は。

答 庁内連携会議を重ね着実に前に進める。

問 市民や市内事業者と一緒に取り組む考えは。

答 市民や、団体等が主催し冠称等を付け実施する事業を検討。

問 現在の進捗・検討状況は。

答 市制施行20周年記念のキャッチフレーズ、ロゴマークを募集予定。

問 今後の進め方は。

答 必要な協議を重ね事業等を検討する。



▲市制10周年の模様(2016年)

横井 克典 議員

無会派



問 730万円損失の市長の責任は

答 給料の特例に関する条例を提出

○健康福祉部福祉課における補助金の不適正な事務処理について、以下を問う。

問 なぜ、福祉課長は嚴重注意処分を受けたのか。

答 **副市長** 令和4年度の国の補助金事務手続きにおいて、本来交付されるべき730万円を収入できなかったため。

問 福祉課長は、私に交付率の関係で補助金が全額貰えないため、730万円歳入が少なくなつたと真実と違う説明をしたのか。

答 **福祉課長** 説明に誤りがあったとは考えていない。
問 福祉課長の答弁は虚偽ではないか。
答 **市長** 福祉課長の発言のとおり。

問 市は、730万円の損失を与え、過失を認めるに充分ではないと言えるのか。

答 人事異動もあり、旧担当者の誤りと新担当者の過信から問題が生じ、過失を認めるに充分でないと判断した。

問 議案第46号にある市長の給料の減額は、どの事案によるものか。
答 度重なる事務処理ミスすべてについて、監督責任を深く痛感している。



問 20数年後の既存校舎の考えは

答 既存校舎は解体する

○十四山中跡地に小学校再編校を新設することについて、以下を問う。

問 十四山西部小は、1階は浸水する想定で進めていくとの答弁に、市民から危険を危ぶむ声があるが、どのように説明するのか。
答 **市長** 学校で行っている防災訓練のこと等を説明会で知らせていく。



▲十四山西部小学校

問 保護者に安全性が理解されていると思うか。

答 排水機場が13施設あり、浸水対策にあたっていることを保護者に伝えていく。

問 なぜ、3394筆の署名が集まったと認識しているか。
答 さまざまな意見があることは承知している。

問 請願署名に対して、市長はどう受け止めたか。

答 可能な限り浸水対策を取るつもり。

問 3394人の保護者等の願いを新設校にどう生かしていくのか。
答 少しでも嵩上げできないかと考えている。

問 南部地区や十四山地区の振興策は。

答 人口を増やすことは難しい。将来的に学区の再編等を市民と議会に相談していく。



柴田 英里 議員
無会派

問 地震保険の啓発を

答 火災保険とセットで加入



問 本市の住宅に対する耐震化への取組は。

答 (建設部長) 耐震診断と耐震改修費、耐震シエルトー整備費、ブロック塀撤去費等の補助事業。

問 地震保険とは。

答 地震、噴火、津波を原因とする火災・損壊・埋没・流失による損害を補償する地震災害専用の保険。

問 地震保険の対象は。

答 居住用の建物と家財が対象。

問 地震保険の啓発を。

答 火災保険とセットで加入。

問 本市で啓発しては。

答 地震保険制度について、市ホームページに掲載して啓発。

問 まちなか交流館リニューアルは



答 魅力あふれる施設に整備



○まちなか交流館リニューアルについて、以下を問う。

問 工事に係る費用は。

答 (総務部長) 概算で8億円。

問 財源は。

答 公共施設等適正管理推進事業債、緊急防災・減災事業債を活用。

問 リニューアルの目的は。

答 文化の発信拠点、地域の交流や学びの場として魅力あふれる施設として整備。

問 賑わい創出の仕掛けは。

答 玄関口に大庇おおひさしをイベント用に設置する。

問 喫煙所の設置は。

答 敷地内は全面禁煙。

問 市民ホールの天井高は。

答 特定天井の撤去に合わせ3mほどの天井高に変更。

問 ネーミングライツの募集は実施するのか。

答 広く募集し、愛称を記した看板を施設外部に設置できるように準備。

問 図書館の工事期間およびオープン時期は。

答 (教育部長) 令和7年6月から令和8年4月頃を予定。

問 キッズライブラリーは、騒がしくなるのでは。

答 静かに本を読みたい人のための空間も整備。

問 蔵書数は。

答 同程度の6万から7万冊。

問 座席数は。

答 同程度の約百席。

問 本棚等の家具は新調するののか。

答 利用できるものは利用し、本棚は側面の図書分類の表示を新しく見やすくし、椅子は新調する予定。



問 不登校児の居場所に図書館を

答 居心地のいい図書館を整備



議員 平居 ゆかり 無党派

○リニューアル図書館について、以下を問う。

問 「魅力的な図書館づくり等に関するアンケート報告書」にある、ゆったりくつろげる空間をどう創るか。

答 **【教育部長】** 古くなった椅子を新調。各本棚の配置で明るい空間や大人向けの空間を創る。

問 ネット環境は整うか。

答 フリーWiFi時間制限の緩和を検討。

問 リクエスト予約の改善策は。

答 貸し出し中の本に限りネット予約は可能。

問 乳幼児スペースの考えは。

答 カーペット敷エリアを設け、クッション、乳幼児向けの椅子を設置。

問 遊び心ある書架の読書スペースとは。

答 秘密基地のような隠れ家的エリアや、こもって読書ができるコーナーを設ける。

問 飲食エリアの考えは。

答 図書館は蓋つき飲み物に限る。2・3階のスペースは飲食可。

問 マングの充実は。

答 バランスを考慮し充実させる。



▲図書館のあるまちなか交流館

○不登校児童生徒について、以下を問う。

問 校内教育支援センターの設置は。

答 その都度使える教室で個別対応。

問 通知表の表記方法は。

答 校長判断により作成し、家庭訪問で丁寧の説明。

問 全ての不登校児童生徒が外部とつながりはあるか。

答 アクティブへの入級など個々に対応。

問 タブレット端末への相談チャットアプリ導入の考えは。

答 養護教諭部会の報告もあり、協議・検討。

問 高齢者の居場所に図書館を

答 居心地のいい図書館を整備

答 役立つコーナーの充実に努める。

問 高齢者のための会話スペース、カフェスペースは。

答 2階のフリースペースが本庁6階の展望休憩スペースを利用。

問 高齢者向けの館内イベントは。

答 リニューアル時には検討。

問 市長総括を。

答 **【市長】** すべての世代に居心地のいい図書館を整備。

問 シニア世代を応援するコーナーの充実は。

答 **【教育部長】** くつろいで新聞や雑誌が読める場所。

問 図書館における高齢者のための空間とは。

答 **【教育長】** 市内の子育て支援活動団体と連携、協力を深める。

問 教育長の見解は。

答 **【教育長】** 市内の子育て支援活動団体と連携、協力を深める。

問 図書館内に相談窓口情報を充実させる等の計画は。

答 チラシやポスターで提示。





板倉 克典 議員
日本共産党弥富市議団

問 コロナ禍後の図書館サービスは

答 廃棄してきた本の無料配布など

問 コロナ禍の収束後、どのように図書館サービスを充実させてきたか。

答 **教育部長** おはなしの会、よつば読書会、保存年限の経過した雑誌の無料配布を再開し、廃棄してきた

図書^①の無料配布を始めた。

問 図書館閉館期間中、他の場所で貸し出し業務を行う予定は。

答 予約による貸出しを検討する。新聞、雑誌は2階のフリースペースでの利用を検討している。

問 十四山支所内に第2図書館設置の考えは。

答 考えていない。

問 図書館以外の部署で図書館司書資格を持っている職員はいるか。

答 有資格者は3人。

問 図書館協議会を設置する考えは。

答 社会教育委員会で行っているので、考えていない。

問 第二次弥富市子ども読書活動推進計画の考えは。

答 改訂作業を進めており、令和7年度末の作成を目指す。

問 閉校となる十四山中の図書室の本はどこへいくか。

答 弥富中の蔵書確認を行い、活用できる蔵書を移管する。その他の蔵書は他の小中学校で活用していく。

問	図書館アンケートをどう活かす
答	親しみやすい館内空間を目指す

問 まちなか交流館前に植栽されているケヤキは切る計画か。

答 **総務部長** 撤去する計画。



▲開館当時のケヤキ

問 3階の市民ホールからの振動や音の対策をこの改修時に行うか。

答 現在、運営上支障が出る行為の制限しており、振動や音の問題はない。

問 ブックカートやカゴを設置する考えは。

答 **教育部長** 子育て世代や高齢者等の利便性を図るため検討している。

問 図書館改修に合わせ、指定管理者制度の採用を考えているか。

答 図書館だけを指定管理にすることのメリットが小さいことから、考えていない。

問 「魅力的な図書館づくり」アンケートを改修後の運営にどう活かすか。

答 陳列順序を50音順に見直すことや、児童書の配列の見直しなど、親しみやすい館内空間を目指す。

問 まちなか交流館、図書館の大規模改修にかける思いを。

答 **教育長** 全ての世代の人にとって、居心地のよい図書館になるよう整備していく。



▲ブックカート

平野 広行 議員 無党派



問 令和7年度予算編成は

答 積極的に交付金申請

○令和7年度予算編成に向け防災対策について、以下を問う。

問 鍋田海岸堤防、木曾川左岸堤の耐震、高潮対策の進捗は。

答 **〔建設部長〕**耐震対策済の鍋田川堤防の延長は、来年度完了予定。木曾川左岸堤防は耐震性能照査指針より満足との結果だが、高潮対策未整備区間の尾張大橋取り付け部分は、大型土のうに代わる止水板等を検討中。

問 市内排水機場の設置状況は。

答 13カ所の排水機場に30台設置。

問 本市の直近の最大降雨量は。

答 直近3年間では、令和6年6月1日から3日間の153ミリが最大。

問 排水機の排水能力は。

答 3日連続雨量341ミリを計画基準降雨として排水能力を決定。

問 浸水、洪水対策への予算措置は。

答 **〔市長〕**2億5827万円を計上。



▲鍋田川下水門（境港グランド隣）



▲境港の堤防

○公共交通の利便性向上について、以下を問う。

問 来年度実施予定の北部、東部ルートにおけるデマンド交通実証実験の内容は。

答 **〔市民生活部長〕** きんちゃんバスを完全に連休させ、月々土曜日、8時から20時の運行を予定。

問 南部ルートでのデマンド交通実証実験の運行予算と、北部、東部ルートでの予算の比較は。

答 運行概要と2台の車両台数を盛り込んで要求する。

問 北部、東部ルートにおける実証実験運行の来年度予算措置の考えは。

答 **〔市長〕** 目標値等を定めて検証・評価できるように予算化。

○令和7年度予算の財源について、以下を問う。

問 過去10年間の市税の推移と見解は。

答 **〔総務部長〕** 市税決算額は平成26年度から令和5年度で14・2%増。企業進出による固定資産税の増加によるものと考える。

問 市税収の向上への課題は。

答 新たな企業誘致や、本市の特性を生かしたまちづくりの推進が課題。西末広地区で愛知県企業庁の工業用地開発を検討、車新田地区で令和9年度中の認可を

目標に土地区画整理事業を進める。

問 地方創生交付金の令和7年度予算編成に向けての考えは。

答 デジタル実装タイプについて活用できる事業があれば積極的に行う予定。



小久保 照枝 議員 公明党

問 離婚後の子ども養育支援を

答 丁寧な説明と情報提供に取り組む

○明石市への行政視察から、以下を問う。

問 離婚相談支援の取組は、
答 **健康福祉部長** 児童課に所属する母子・父子自立支援員が業務を担っている。

問 現状は。
答 面談により、離婚制度をはじめ、親権や面会交流など必要な情報提供を行っている。

問 専門弁護士の実績がでないか。
答 新たに専門弁護士を置くことは考えていない。

問 離婚届用紙と一緒に「養育費と面会交流一冊子」を配布できないか。
答 法務省が作成した「子どもの養育費に関する合意書作成の手引きとQ&A」を配布していく。

問 協議離婚および調停離婚への費用負担が本市でもできないか。
答 離婚に関する費用負担は考えていない。

問 「離婚セミナー」のような講座を開催できないか。
答 県や広域で開催されるオンラインでのセミナー等があれば、情報提供していく。

問 市長の見解は。
答 **市長** 相談者に寄り添い、制度などを有効に活用してもらうよう説明等に取り組んでいく。



問 来年以降、何台程度を新端末に買い換える必要があるか。
答 **教育部長** 令和8年度に更新を計画しているが、具体的な数やリースと購入の決定には至っていない。

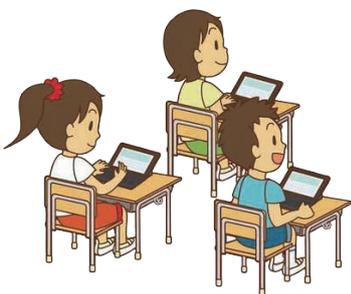
問 適切な端末処分とデータ消去に対する具体的な取組は。
答 更新時、契約業者に現在の機器のデータ消去と、小型家電リサイクル法の認定事業者へ処分を依頼していく。

問	GIGAスクール 端末の更新は
答	必要な予算措置を 講じていく

問 環境省通知に基づく環境課と教育委員会、認定事業者との連携は。
答 環境課と連携し、認定事業者の情報共有しながら適切に進めていく。

問 適法な認定事業者への委託およびデータ消去等に
答 必要な予算措置を行うことが不可欠であるが、市長の見解は。

問 適切な方法で端末データの処分を行ったうえで、認定事業者へ処分を依頼し必要な予算措置を講じる。
答 **市長** 適切な方法で端末データの処分を行ったうえで、認定事業者へ処分を依頼し必要な予算措置を講じる。



【その他の質問】
図書館サービスの充実を

問 弥富の文化伝承を！

答 引き続き多世代へのPRに努める



鈴木 りつか 議員 無党派

問 弥富市文化協会の登録団体数、会員数とその推移は。

答 **【教育部長】** 団体数は32団体、会員数は448人。昨年と比較すると団体数は1団体減少、会員数は1.36%増加。

問 伝統文化継承活動を維持するための支援は。

答 地域の伝統芸能に対して、1地区8万円の支援、山車など道具整備にも支援を実施。大規模な修繕等には県の補助事業を活用し、自治会や保存会の負担軽減に努める。

問 無形文化伝承活動奨励補助事業の利用実績は。

答 令和4年度13地区、令和5年度31地区、令和6年度34地区。

問 洋邦楽舞発表会の参加人数、観覧人数実績は。

答 参加人数は234人、観覧人数は延べ368人。

問 弥富市文化芸能大会の参加人数、観覧人数実績は。

答 参加人数は8地区9種目約100人、観覧人数は把握していない。

問 どちらも高齢化が危惧されるが、今後の維持、会員数の増加を図るための取組は。

答 市ホームページで活動をPRしている。イベント、特別企画、講習会にも力を入れ、文化協会の魅力を伝える。学校や地域の団体と連携し、若い世代が文化に触れる機会を推進し、文化活動の魅力を喚起し、将来的な会員の基盤を築く。



問 弥富音頭・十四山音頭を学校で

答 授業に組み込むよう努める

問 弥生小学校で「弥富音頭」を運動会で踊る機会がなくなったのはなぜか。

答 **【教育部長】** 昨年度より運動会の内容を見直し、運動会当日までに踊れるよう指導するのは難しいと判断した。

問 十四山地区では「十四山音頭」を学ぶ授業が行われている。各小学校でも「弥富音頭」を学ぶ授業を行っているか。

答 各授業のカリキュラムの中に組み込むよう市校長会に伝える。

問 総合学習の授業で、文化協会の活動を学んでもらう機会を作っては。

答 学校のカリキュラムに沿うものがあれば、文化協会に指導してほしい。

問 弥富市独自の文化を守っていく取組は必要だと思いが、市長の考えは。

答 **【市長】** 地域の参加型イベントや文化団体発表会等を通して文化の伝承に繋げる。市と地域が一体となり独自の素晴らしい伝統を守り続けたい。





加藤 克之 議員 無会派

問 道路整備と交通対策を

答 安全と円滑を考慮し整備する

問 向陽通線および穂波通線の進捗状況は。

答 (建設部長) 向陽通線は計画延長1010mのうち760m改良済み、整備率は75・2%。

穂波通線は計画延長1320mのうち1100m改良済み、整備率は83・3%。

問 今後の道路整備スケジュールは。

答 現在、車新田地区の土地区画整理事業に向けた検討を進め、当該事業区域の未整備区間は国の補助を活用しながら整備し、令和9年度中の認可を目標に事業を進めている。

問 平島交差点に音響式信号機の設置は。

答 県道と市道の交差点となるので、県と調整しながら、公安委員会へ要望していく。

問 県道子宝愛西線佐古木交差点の渋滞緩和対策は。

答 佐古木交差点に北進の右折レーンを設置することで、混雑が軽減できると考える。用地を取得する必要があり、費用と時間がかかるが、県に要望していく。

問 市の道路整備は。

答 道路整備事業は、市道弥生通線を始めとする4路線8カ所の道路拡幅工事や、子宝15号線を始め14路線の舗装工事など実施。

問 交通安全対策は。

答 市道鍋平27号線の拡幅に伴うガードパイプの設置や、通学路沿いのフェンスの改修などに努めている。

問 今後の安全対策の考えは。

答 (市長) 交通安全啓発の活動を実施しながら、各道路管理者や警察と協力し、問題の解決に努めていく。



▲通学路の安全確保（鍋平27号線）



▲中学校の通学路（フェンス整備）

問 子育てをするなら弥富を取り戻せ

答 子どもまんなか社会の実現目指す



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 本市の年少人口の推移と傾向は。

答 (健康福祉部長) 令和元年度から5年間で約1割の減少。5年後さらに1割減少する。

問 年少人口減の分析と改善策は。

答 子育てに対する負担感の増大等が要因。子育て支援策を充実させる。

問 それらの改善計画は。

答 こども計画を基に、施策を継続。ニーズに応じ見直しを行い、新たな取組を進めていく。

問 本市の公園の数は、他自治体と比較してどうか。

答 (建設部長) 61カ所の公園と多数の大規模公園が整備され十分である。

問 前ヶ須に公園を整備する計画は。

答 計画はない。

問 交通児童遊園(公園)を整備する考えは。

答 考えはない。

問 日曜日に室内で遊べる場所を整備する考えは。

答 (健康福祉部長) 室内で遊べる公共施設はない。

問 保育所の開所時間と、学校の開始時間のズレへの認識は。

答 保育所は午前7時30分、小学校は午前8時10分頃登校。

問 そのズレを解消するための手立ては。

答 開始時間の見直しは困難である。

問 「子育てするなら弥富市へ」を取り戻すための考えは。

答 (市長) 「子どもの未来をはぐくむまち・弥富」を

基本理念とし「子どもまんなか社会」の実現を目指す。



▲交通児童遊園(蟹江町)

問 安心・安全の弥富市に

答 防災意識を高めていく

問 保育所や学校の災害対策は。

答 (健康福祉部長) 保育所の地震等防災マニュアルに基づき訓練。

教育部長 小中学校では防

災計画に基づき防災教育と避難訓練を行っている。

問 備品などの配備は。

答 (総務部長) 避難所等に配備している。プッシュ型支援で物資を供給し不足を防ぐ。

問 今後、どのようなものを備えていくか。

答 停電に備え、リチウムイオン蓄電池を順次配備する。

問 学校や保育所で海拔がマイナスになっている場所は。

答 海拔がマイナスでないのは南部保育所のみ。

問 マイナス1・9mの場所に学校を建てるのは妥当か。

答 (教育部長) 万が一に備え、3階に避難スペースを設置。

問 文科省の出している「水害リスクを踏まえた学校施設の被害対策の推進のための手引き」を承知か。

答 承知している。

問 よつば小学校の避難所の指定は。

答 (総務部長) 他の指定避難所と同様に弥富市立よつば小学校も避難所として指定する。

問 安心安全の本市として、市長総括を。

答 (市長) 官民間問わず緊急時避難場所や広域避難場所の災害協定の締結を進めており、緊急時避難場所の拡大や自主的広域避難の周知に努めている。



▲2次開設避難所の看板



早川 公二 議員
無会派

問 こども達によりよい教育環境を

答 地域に愛される再編校を開校

問 再編事業は、どのように進めてきたか。

答 〔教育部長〕説明会の開催など丁寧な手順を踏んで進めてきた。

問 令和10年4月開校としている理由は。

答 よりよい教育環境を整えるため。

問 校舎の地盤や安全性は。

答 耐震工事は終えており、耐力度も調査済み。

問 既存校舎を活用し、一部新築としているのはなぜか。

答 限りある財源を最大限に活用するため。

問 スクールバスの運行の進捗状況は。

答 保護者とのワークショップを行っている。

問 安全対策は。

答 アプリを使い見える化を検討。



▲十四山西部小学校

問 学校跡地の利活用の考えは。

答 市民の声をしっかりと聞き、将来の投資、地域の活力、民間事業者の需要の観点から検討する。

問 新しい学校の教育をどのように考えているか。

答 〔教育長〕再編小学校の特徴を活かした教育の展開をする。

問 新校舎の施設整備を含めた総括を。

答 〔市長〕地域に愛される再編校を開校させる。

問 車新田地区のまちづくりを行うことになった経緯は。

答 〔建設部長〕土地所有者から都市的土地利用の相談があり、平成26年度にアンケート調査を実施し検討が始まった。

問 地権者への説明会・意見交換等を、いつからどのような内容で行ったか。

答 平成27年度から勉強会、意向調査報告会、地権者説明会を行った。

問 地権者の同意は得られているか。

答 地権者数割合82・0%、面積割合91・6%の仮同意率。

問 車新田まちづくりの早期実現を

答 令和9年度中に設立認可を目標



▲車新田地区

問 全地権者の同意が必要か。

答 3分の2以上が必要とされているが、85%以上が望ましい。

問 まちづくりの進捗は。

答 今年度は事業化検討パートナーと詳細な事業計画や事業費、事業スケジュール等の検討を進めている。

問 事業完了の用途は。

答 設立認可時期の目標を令和9年度中とし、組合設立後の工事期間等のスケジュールは組合と業務代行者によって決定される。

【その他の質問】
自治会・コミュニティの今後は

問 市有財産の適法管理の怠慢では

答 不当利得とその利息の返還請求



加藤 明由 議員 新しい風やとみ

問 公共用物である市有地の侵奪は最高裁で確定、なぜ過料を課さないのか。

答 (建設部長) 行政上の秩序維持を目的に科す秩序罰としての過料であり、市に裁量権が与えられていると判断。また、積極的な[※]欺[※]罔行為や不正行為があったと判断できる事実が必要と解釈。

よって過料ではなく、

[※]民法第703条および

[※]第704条の規定による

不当利得とその利息の返還を請求した。

問 公共用物管理条例における過料は財産管理上必要な事項では。

答 不当利得とその利息の返還請求を進めている。

問 過料を課さないことは、市の損害では。

答 不当利得とその利息の返還を請求しており、賠償の責任は負わないと考える。

問 侵害されている市の公有財産の早期原状回復の経過は。

答 現在、相手方と折衝中。

[※]欺罔(ぎもう)

人を欺く行為

[※]民法第703条

不当利得の返還義務

[※]民法第704条

悪意の受益者の返還義務等

○弥富市公共用物管理条例

・第3条 何人も、公共用物において、次に掲げる行為をしてはならない。(中略)
・第18条 第3条の規定に違反した者は、5万円以下の過料に処する。

問	農地賃貸借料 会議は適正か
答	お互いに十分意見 を交わし決定

○弥富市農地賃貸借料金について、以下を問う。

問 会議資料はどのような手続を経て作成、提出されたのか、不公平はないか。

答 (建設部長) 各地区のオペレーターおよびJAあいち海部の担当者で打合せを行った。この事前会議は、借り手側の要望に応えるために開催し、適正であると考える。

問 会議前に徴取した生産組合長などからの事前質問の扱いは不当では。

答 当日文書で回答するよう要請され、会議当日に回答を渡した。

問 料金算定の根拠は不合理では。

答 貸し手側と借り手側双方の代表が十分に意見を交わし、定められた賃貸借料金であり、適正と考える。

問 賃貸借料金の検討に当たっては、公租公課、他地区の類似圃場条件の賃貸借料金情報など、実態を示す情報提供が不可欠では。

答 あくまでも話し合いの場を設定している。

問 賃貸借料金の検討に関して市は積極的な役割を果たすべきでは。

答 中立的な立場である。
問 検討会議の規約はどのような手続を経て決定、成立したのか。

答 行政内部の打合せで、検討会議の開催には規約が必要と判断し、産業振興課が作成し、部長決裁。

問 検討会議の構成員の変更はなぜか。

答 9月議会で指摘を受け、行政内部で協議した結果。
問 検討会議の運営状況等に対する見解は。
答 (市長) 本市は中立的な立場である。



佐藤 仁志 議員
新しい風やとみ

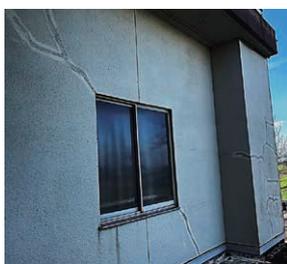
問 なぜ中学校跡地ではダメなのか

答 計画に変更がないため



▲十四山西部小のベランダ軒裏

○統合小学校の建設地が、十四山中学校跡地ではなぜだめなのか、以下を問う。
問 十四山西部小学校は、壁にひびが入り、柱にも無数のクラックが入っている。高度成長期に建てられた躯体のリスクを甘く見ていないか。躯体の安全性をどう証明し、保証するのか。
答 (教育部長) 専門家による耐力度調査を実施し、既存校舎の躯体の強度を確認しており安全である。



▲十四山西部小校舎の壁

問 去年の説明会から中学校跡地が良いという市民の意見はあったが、専門家が中学校跡地案を示して、署名活動が起きた。市民が表明した意思を市はどう受け止めるか。
答 (教育部長) 署名という形で重く受け止めている。

問 17万円の紛失事案、補助金交付事務の手続きミスで730万円を一般財源から補填するなど、一連の度重なる不適正事務に対する管理者責任は。
答 (副市長) 市政における事務の信頼性を損ねたことに深くお詫びする。これまでに以上に職員一丸となり、市民の信頼を取り戻すため、全力で市政運営に取り組む。
問 これは組織的な問題である。行政事務の責任者である副市長の対応能力に疑問があるか。
答 叱責を受けたことを全て糧にして、信頼回復に努め行政運営と、市民サービスの向上を目指す。

問 不適正事務処理の管理者責任は

答 信頼回復に全力で取り組む

問 市の説明は信用できない。民間企業であれば辞任に値する。その覚悟はあるのか。
答 職員一丸となり、適正な事務執行と、信頼回復に努める。

江崎 貴大 議員

無会派



問 重層的支援体制の整備は

答 庁内連携の促進を図っていく

問 地域福祉計画に重層的支援体制の整備をどのように盛り込むか。

答 **〔健康福祉部長〕** 包括的な支援体制の整備に係る事業として位置付ける。

問 庁内の体制作りは。

答 地域福祉計画策定に係る関係機関調整会議を引き続き活用し、庁内連携を図る。

問 今後の中学卒業後の不登校・引きこもり対策は。

答 既存相談窓口の位置付けを整理していく。

問 不登校経験のある中学卒業者やその家族への関わりは。

答 「**カラフル**」の相談体制で対応している。今後、家族支援の視点を念頭に対応する。

問 今後の地域での居場所づくりは。

答 地域住民等が主体となった地域課題の解決が重要で、行政支援として**※**コミュニケーションソーシャルワーカーの配置が必要。

問 児童発達支援センター設置に向けた進捗状況は。

答 令和8年度末までに海部南部圏域で設置を目指す。

問 センターに期待する役割は。

答 身近な地域で中核機能の提供ができる体制を整備する。

問 コミュニティソーシャルワーカーの導入は。

答 社会福祉協議会に1人配置。



※カラフル
スクールカウンセラーによる子ども相談室

※コミュニケーションソーシャルワーカー
地域福祉のコーディネート役

問 中小企業発展による地域振興を

答 商工会と共に研究していく

問 中小企業の情報発信への支援は。

答 市主催イベントで、商工会が企業PRブースを設置し、創業支援のPRを行っている。

問 市内中小企業の交流は。

答 商工会会員が、部会ごとの勉強会、視察研修、懇親会などを毎年開催。

問 情報発信や情報交換、交流のため、異業種交流展示会に市として出展ブースを確保する考えは。

答 しんきんビジネスフェアに令和元年から、商工会が市内企業とブースを出展している。

問 小規模で甘受しているものを合同・大規模にすることで、実現可能になるのでは。

答 商工会と共に研究する。

問 中小企業の発展がもたらす効果は。

答 **〔市長〕** 優良企業の増加により雇用促進、市税増収、市民サービス拡大という効果を期待。

問 その支援に対する考えは。

答 「**聞く場**」とする意見交流や「**見せる場**」とする情報発信などを商工会と模索していく。



▲みせるばやよ (八尾市)



高橋 八重典 議員
無会派

問 統廃合事業の丁寧な全容説明を

答 専任を配置し対応

○市内4小学校統廃合事業の直近について、以下を問う。

問 新設校名は。

答 **〔教育部長〕** 弥富市立よつば小学校。

問 学校統合以外、新設校予定地の立地条件と旧校舎使用を心配している認識は。

答 **〔教育長〕** 認識している。

問 決議した意見書は、中学校跡地に新校設置を絶対としたものではない。市の認識は。

答 **〔副市長〕** 理解している。

問 市長声明は、新規増築校舎に児童全員入れる変更で間違いないか。

答 間違いない。

問 30年後の児童予測数と1学年1クラスになる時期は。

答 **〔教育部長〕** 本年度の出生率から算出し、今年度以降の出生率の増減がない仮定で令和17年頃。

問 ライフサイクルコストの30年後は、児童がピークアウトして新規増築校舎で全て完結し旧校舎は解体の認識か。

答 **〔市長〕** 新築校舎の空き教室へ移設し、体育館の建て替えの際に既存校舎を解体。

問 十四山中跡地への新築が、令和10年4月開校に間に合わない理由は。

答 **〔副市長〕** 新築校舎工事を行うには、令和7年3月末までに建築確認申請、図面や構造設計等必要書類を準備し4月上旬に提出。なお、審査に約3カ月掛かり、建築確認証が交付され、公立学校施設整備費負担金認定申請期限も4月上旬のため。

問 今の兼務担当では、仕事量から考えて新庁舎建設時と同様に専任を置くべきでは。

答 **〔市長〕** 再編に向け多忙事務で負担と思われるので、内部協議にて適正配置をする。

問 行政視察から、淡路市は跡地利用の立ち位置を明確に示し成功しているが、本市の現状は。

答 **〔市長〕** 小中学校統廃合推進計画部会にて全庁横断的組織で協議している。

問 淡路市を始めとした成功自治体は、当初段階から市長部局も加え全てを網羅し、専任も置いて取り組んでいるが市長の見解は。

答 跡地利用計画、地域コミュニティの活性化支援、定住促進等の事業等は担当課のみでは困難であり、全庁横断的な協議の場と専任配置を考える。

問 4小学校統廃合事業および市内全小学校の今後を見据えた総括を。

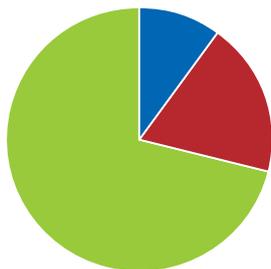
答 先延ばしにできない再編に向け、市と教育委員会が一丸となり進め、子ども達の教育環境を第一に考え計画し進めることが重要。



◀弥富市小学校統廃合に伴う新校設計計画の見直しと地域コミュニティ活性化および定住促進の推進を求める決議

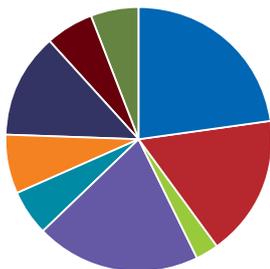
令和6年度弥富市議会議会カフェ アンケート集計結果

参加者の年齢
(回答数69)



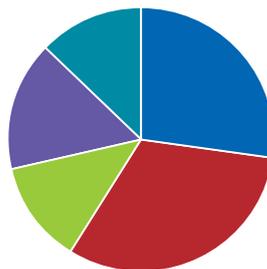
■ ~29歳
■ 30歳~59歳
■ 60歳~

参加者の居住地区
(回答数70)



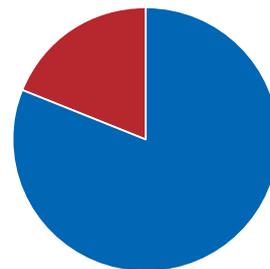
■ 弥生
■ 桜
■ 大藤
■ 栄南
■ 白鳥
■ 十四山東部
■ 十四山西部
■ 日の出
■ 市外

開催をどこで知りましたか
(回答数95)



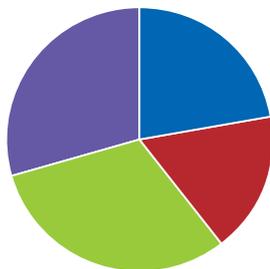
■ 議会だより
■ 広報やとみ
■ ホームページ等
■ チラシ
■ その他

開催日時はいかがですか
(回答数64)



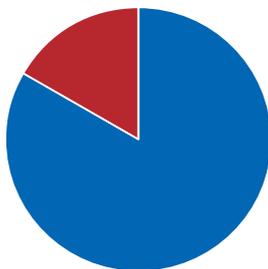
■ 参加しやすい
■ 参加しにくい

興味のある市政の分野は
(複数回答可)



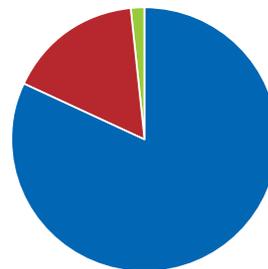
■ 総務
■ 建設
■ 健康福祉・市民生活
■ 教育

内容はいかがでしたか
(回答数66)



■ 評価する
■ どちらとも言えない
■ 評価しない

次回も参加したいですか
(回答数67)



■ 参加したい
■ どちらとも言えない
■ 参加しない

3月定例会の開催日程(予定)

期日	日程	ケーブルテレビ中継 放映予定	インターネット 配信予定
2月25日(火)	本会議(市長施政方針、議案説明など)	○	○
3月11日(火)	本会議(一般質問)	○	○
12日(水)	本会議(一般質問)	○	○
13日(木)	本会議(議案質疑)	—	○
14日(金)	総務建設委員会	—	○
17日(月)	厚生文教委員会	—	○
18日(火)	予算決算委員会	—	○
19日(水)	委員会予備日(午後)	—	○
25日(火)	本会議(委員長報告・討論・採決)	—	○

◆ケーブルテレビ中継

午前10時~会議終了まで(録画放映は当日午後7時~放映予定)

◆インターネット配信

開催後、おおよそ10日後より配信予定

※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。

表紙の説明



弥富市議会は、令和6年3月より毎月議会改革協議会を開催し、さまざまな分野における課題や市政発展のため、議論し解決に向けて進めています。

昨年11月に4会場で「議会カフェ」を開催し、市民の皆さまからのご意見、ご要望をお聞きして、本市にとってさらなる発展を目指していきます。皆さまのお声は、市ホームページにて改めて公表します。